

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 4 号を発表します。

コナガの予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数が平年より多く推移しています。アブラナ科野菜類、花き類圃場^ほでの発生状況に注意し、防除対策を実施するようご指導願います。

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 4 号

コナガの発生状況と防除対策について

- 1 対象作物 アブラナ科野菜（キャベツ、こまつな、だいこん等）
 花き類（ストック等）
- 2 病害虫名 コナガ
- 3 発生地域 県内全域
- 4 発生状況と今後の発生予想について

- （1）加西市及び南あわじ市に設置している予察灯において、平年を上回る成虫（写真 1）の誘殺が認められている（図 1）。直近 1 か月（4 月 16 日～5 月 15 日）の合計誘殺数は、加西市で平年の 9.0 倍、南あわじ市で同 5.8 倍と平年より多い。
- （2）コナガ用のフェロモントラップでも、平年を上回る誘殺を認めている（図 2）。加西市における直近 1 か月（4 月 16 日～5 月 15 日）の合計誘殺数は、平年の 5.2 倍と平年より多い。
- （3）キャベツやこまつな等、県内の複数地点でコナガによる加害を認めている。
- （4）大阪管区気象台の近畿地方の 1 か月予報（5 月 15 日発表）によると、気温は平年より高く推移するとされている。コナガの活動に好適な条件が続くため、幼虫の増殖が進み、被害が顕在化するおそれがある。

5 防除上の留意点

- （1）幼虫の食害痕（写真 2）を目印に圃場内を注意して見回り、被害発生の状況把握に努める。
- （2）老齢幼虫（写真 3）では殺虫剤の効果が劣るため、発生初期の防除を実施する。
- （3）収穫後の残渣や圃場周辺のアブラナ科雑草は発生源となるので、早期に除去する。
- （4）薬剤散布を行う場合は、農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。コナガは、殺虫剤に対する抵抗性を発達させた事例が多く報告されている。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統が異なる薬剤を用いたローテーション散布を行う。なお、薬剤散布後は効果をよく観察し、密度の低下が見られない場合は異なる系統の薬剤を用いる。

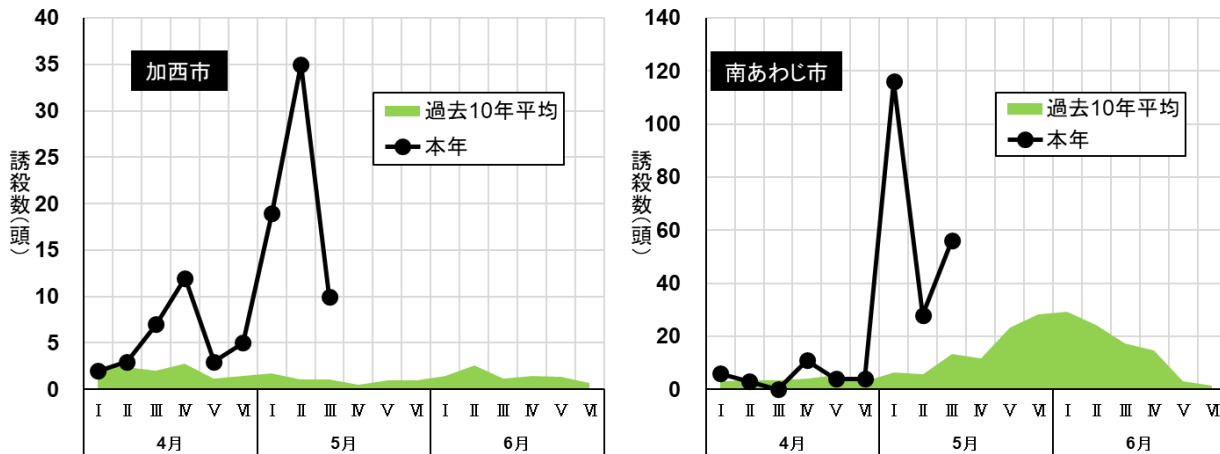


図1 予察灯におけるコナガ誘殺数の推移

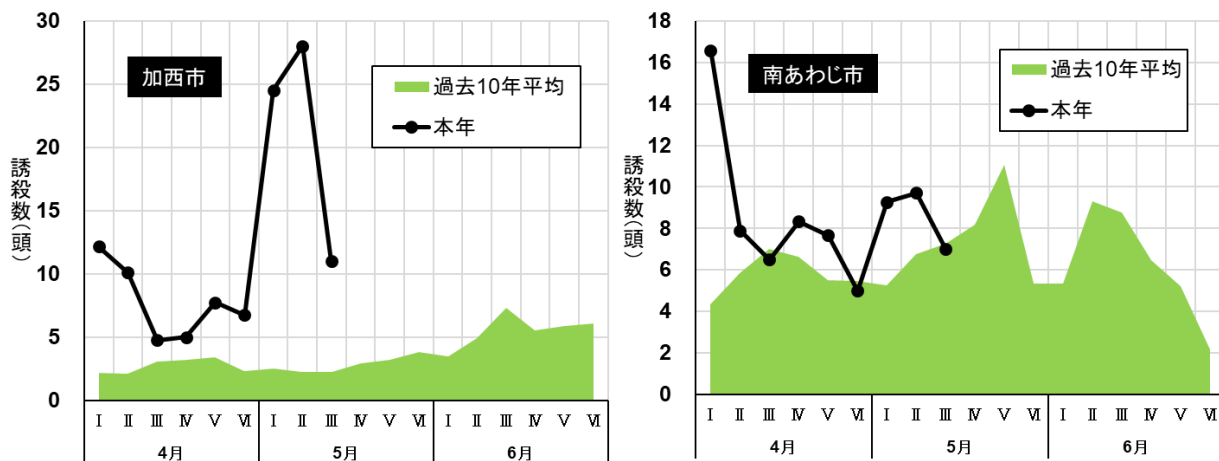


図2 フェロモントラップにおけるコナガ誘殺数の推移

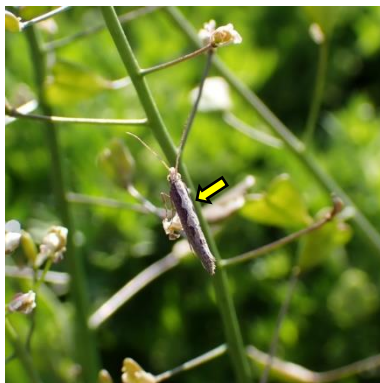


写真1 コナガ成虫

背面の白い模様が特徴的。体長は約 10 mm。



写真2 食害痕

細かい粒が散らばっているように見えるのはコナガの虫糞。

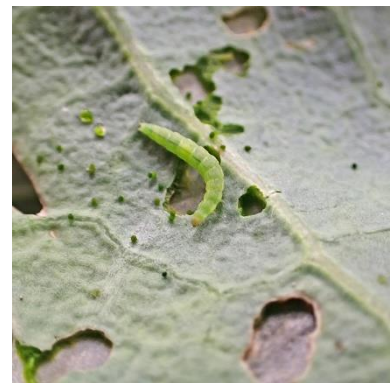


写真3 コナガ幼虫

触れると^{けいすん}痙攣したように跳ねる行動をする。老齢幼虫の体長は約 10 mm。

*この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病虫害・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222

「兵庫県病虫害防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。
フォローをお願いします。
Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

